

## 単元名 Unit 0 Welcome to Junior High School

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 小学校で習った表現を用いて、挨拶や好きなもの、部活動について伝えたり、先生の指示を聞き取ったりすることができる。また、アルファベットや単語を声に出して読んだり、書いたり、自ら辞書を引くことができる。
- (2) 小学校で習った英語表現を用いて、挨拶や、好きなもの、部活動などについての考えや気持ちなどを伝えることができる。
- (3) 初対面の相手と知り合うために、好きなもの、入りたい部活動などを伝え合ったり、先生の指示を聞き取ってそれに合わせて動いたりしようとする。また、アルファベットの綴りや音を頼りに、文字や単語を読んだり書いたりしようとする。

## 標準的な展開例

10250101\_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Part1 1年生の英語学習の進め方の説明や、それぞれの場面で使用する表現について学習する。</p> <p>★英語学習の進め方を知り、小学校で習った英語表現を、それぞれの場面で使ってみよう。</p> <p>○教師の自己紹介を聞く。</p> <p>○これからの英語学習への取組方を知る。</p> <p>○友達と自己紹介をする活動に取り組む。</p> <p>○教室で使う英語について知る。</p> <p>○英語の指示に従って動作する活動に取り組む。</p> <p>2 Part2 英語の音と文字について学習する。</p> <p>★アルファベットの知識をもとに、単語を読んだり書き写したりしよう。</p> <p>○アルファベットの名前と音を確認する。</p> <p>○読み方の違いを確認する。</p> <p>○単語の書き取りをする。</p>	<p>・教師が簡単な自己紹介を行い、小学校で習ったことを思い出させながら、生徒に自由に質問させる。</p> <p>・授業は基本的に英語で行うよう努める。</p> <p>・いくつかの問答を繰り返し、英語で授業を進める雰囲気づくりをする。</p> <p>・表紙裏の資料で、英語が使えるようになることで何ができるかを考えさせ、積極的に英語を学ぶための意欲付けを行う。</p> <p>・卒業した先輩が在籍中に英語を使っている様子などを動画で見せた後、中学校の到達目標を伝えることで3年間の見通しをもたせ、英語学習への意欲を高めさせる。</p> <p>・授業の進め方や、ノートやタブレットの使い方、課題への取組方などを伝える。</p> <p>・小学校で習った自己紹介の仕方や、好きなものの尋ね方、入りたい部活動の伝え方を確認する。</p> <p>・隣の友達に、自分の名前、好きなもの、入りたい部活動を伝える活動をさせる。</p> <p>【評】友達と会話をする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書で紹介されている表現に加え、授業でよく使う指示を紹介する。</p> <p>・“Simon Says”など、ゲーム性のある活動に取り組ませることで、英語による指示の定着を図る。</p> <p>【評】指示に従って動く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・アルファベットを電子黒板やタブレット等で提示しながら、モデルに続いて発音させる。</p> <p>・Vなど、日本語で違った読み方で定着しているアルファベットの発音に注意させる。</p> <p>・単語は主に音の足し算で成り立っていることに気付かせる。</p> <p>・同じ文字でも異なる発音をする単語を発音させ、違いに気付かせる。</p> <p>・巻末資料や発音の仕方の映像資料などを活用し、文字の発音についてAから順に説明し、一つ一つ発音させる。</p> <p>・舌の使い方や口の開け方を意識させる。</p> <p>・始めは“[k], [k], car”などと、フォニックスの読み方で練習する。</p> <p>・最終的には、文字だけを見て発音できるように、絵を示さないで練習する。</p> <p>・しっかりとリピートさせて、正しく発音できるようにさせる。</p> <p>・列ごとや個人で発音する機会を設け、一人一人が正しく発音できているか確認する。</p> <p>・chやphなど2文字で一つの音になるつながりも確認する。</p> <p>・英語の音と綴りの関係を意識させ、それぞれ</p>

<p>○ 単語や文の書き方を確認する。</p> <p>3 学び方コーナー① 辞書の使い方を知る。</p> <p>★辞書の使い方を確認しよう。</p> <p>○ 辞書の引き方を知る。</p> <p>○ 辞書の見方を知る。</p>	<p>の単語の発音練習をしてから、書く練習をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き始めの位置や文字の高さに注意して書かせる。</li> <li>・bとd, pとqなどの間違いやすい文字に注意させる。</li> <li>・単語や文を書くときのルールについて確認する。</li> </ul> <p>【評】単語を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ単語でも、複数の品詞や意味があることを理解させる。</li> </ul> <p>【評】辞書で語の意味を引く取組を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】  
 授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。  
 「アルファベットの名前と音」については、Unit1以降も、必要であれば何度も振り返るようにする。